

	琉球大学 理学分野
学部等の教育研究 組織の名称	理学部（第1年次:200） 大学院理工学研究科（M:145 D:12） 熱帯生物圏研究センター
沿 革	昭和25（1950）年 琉球大学開学（米国民政府立大学）、理学部設置 昭和29（1954）年 文理学部設置 昭和41（1966）年 琉球政府へ移管（琉球政府立大学） 昭和42（1967）年 理工学部設置 昭和47（1972）年 国立大学移管 昭和54（1979）年 理学部設置 昭和55（1980）年 大学院理学研究科修士課程設置 平成6（1994）年 熱帯生物圏研究センター設置 平成10（1998）年 大学院理工学研究科博士前期課程・博士後期課程設置 平成22（2010）年 熱帯生物圏研究センターが共同利用・共同研究拠点に認定
設置目的等	<p>昭和25（1950）年の琉球大学開学時に、理学部が設置された。</p> <p>昭和29（1954）年に、新学則により理学部は文理学部へと統合された。</p> <p>昭和42（1967）年に、琉球大学設置法の一部改正に伴う全学的な学部再編により、理工学部が設置された。</p> <p>昭和46（1971）年に、海洋生物学の教育と研究の充実を目的として、理学部附属臨海実験所（瀬底）が設置された。</p> <p>昭和47（1972）年に、沖縄の本土復帰により、琉球大学は国に移管され国立大学となった。</p> <p>昭和50（1975）年に、水産学及び海洋・地球科学の人材育成を目的として、国立大学初の海洋学科が設置された。</p> <p>昭和54（1979）年に、教育・研究の充実・発展を目的として、理工学部を改組し、理学部が設置された。</p> <p>昭和55（1980）年に、広い視野に立って精深な学識を授け、理学的基礎科学分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養うことを目的として、大学院理学研究科修士課程が設置された。</p> <p>昭和56（1981）年に、海洋生物学研究の振興を目的として、理学</p>

	<p>部附属臨海実験所が熱帯海洋科学センターに改組・拡充された。</p> <p>平成6（1994）年、熱帯生物圏研究センターは、全国共同利用施設として熱帯・亜熱帯域の生物及び環境に関する研究を行うことを目的とし、熱帯海洋科学センターと農学部附属熱帯農学研究施設を統合して設置された。</p> <p>平成10（1998）年に、熱帯・亜熱帯特性を生かした新しい学問の発展、国際交流の推進、地球環境の保全、熱帯・亜熱帯資源の持続的有効利用、地域の要請に対する応答を重要課題として掲げ、人類と自然の永久共存をメインテーマとして教育研究を推進することを目的として、理学研究科と工学研究科を改組し、理工学研究科博士前期課程・後期課程が設置された。</p> <p>平成21（2009）年、野外調査による研究と分子生物学的研究による総合的、学際的な研究が遂行できる研究環境を整備するため、熱帯生物圏研究センターと学内共同利用施設である分子生命科学研究センターを統合し、新組織としての熱帯生物圏研究センターが発足した。</p> <p>平成22（2010）年、熱帯・亜熱帯生物圏における生理生態的特性とその分子生物学的基盤を扱う研究領域、これらの地域の生物多様性や生物資源の実体解明、開発及び保全策の構築を扱う研究領域、さらには、感染症を含む人類の健康維持に関する生命科学を扱う研究領域に関連する学術コミュニティの要望に応えるため、熱帯生物圏研究センターが共同利用・共同研究拠点に認定された。</p>
<p>強みや特色、社会的な役割</p>	<p>琉球大学は、自然的・文化的・歴史的特性を有する琉球列島にあって、「自由平等、寛容平和」の建学の精神を継承・発展させ、「地域特性と国際性を併せ持つ個性豊かな大学」を創り上げることを目指し、教育、研究、社会貢献に取り組んでいるところであり、以下の強みや特色、社会的な役割を有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 幅広い教養、基礎となる学術的理論体系、理論的・実験的方法論等を身につける理学教育を展開し、科学技術の進歩に柔軟に対応できる高度な専門人材の育成の役割を果たすとともに、独創性を有し、自然と調和のとれた科学の発展に貢献できる高度な研究能力を有する先導的な人材育成の役割を果たす。 ○ 学科横断型学際科目（総合的・学際的科目等）及び、少人数教育科目（理学部基礎科目）等の特色ある教育改革を進めてきた実績を生かし、環境問題などの直面する複合的課題を学術の智によって解決することができ、かつグローバルに活躍できる人材を育成する学

部・大学院教育を目指して不断の改善・充実を図る。

- 沖縄及びアジア太平洋諸国に共通する「亜熱帯」、「島嶼」、「海洋」という地域特性、水産学分野があるという特徴、基盤となる理学の諸基礎研究分野の実績、更に臨海研究施設等を活用したサンゴ及び島嶼生物多様性に関する研究の実績を生かして、理学の諸分野における研究を幅広い連携のもとに推進し、当該地域社会の発展や我が国の理学の発展に寄与する。
- 的確な資格取得の指導による人材育成、および教員の小中高教員研究集会等への参加、高校への出前授業、体験ツアー、スーパーサイエンスハイスクールへの貢献などの実績を生かし、地域の数学・理科教育の発展に資するとともに、高度な技術を必要とする業種へ人材を提供する。
- 沖縄県における唯一の総合的な理学教育・研究機関としてのエクステンション活動の実績を生かし、大学院への社会人受け入れ促進、公開講座等の充実を図り、地域の基礎科学力の向上と、産業の知的高度化・活性化に資する。